改善プログラムの構成・見方

①各評価人の評価をコーディネーターが総括したものです。

②「評価の総括」を、項目別に整理したものです。

③「総括の整理」に対して、事業の所管課が受け止めた課題を記載しています。

④「所管課として受け止めた課題」が解決された状態を「目指すべき姿」として記載しています。

⑤「所管課として受け止めた課題」を解決するための取組を具体的に記載しています。

⑥「改善に向けた取組」とした事項がどれだけ達成できたのかを測る指標（モノサシ）を設定しています。また、指標に対する現状値、目標値、及び目標達成時期を設定しています。

⑦「改善に向けた取組」について、2017年度中に取り組むことを「取組実績（見込）」として記載しています。また、2018年度、及び2019年度に行う取組を「年度計画」として記載しています。

番号	事業名	所管部課	評価			改善内容									
			評価結果	評価の総括	総括の整理（項目別）	所管課として受け止めた課題	目指すべき姿	改善に向けた取組	指標	現状値	目標値	達成時期	2017年度取組実績	年度計画 2018年度	年度計画 2019年度
1	公立保育所運営事業	子ども生活部子育て推進課	要改善	待機児童の減少方策も含め、将来的な目標をきちんと立て、市役所内だけでなく市民と共有すること。 その中で公立保育所としての存在意義や果たすべき役割の再認識をし、市内保育所の公民連携の発信拠点になること。 また、それらを担う保育士の育成と確保に関して改善が必要である。	（１）待機児童の減少方策も含め、将来的な目標をたて、市民と共有する必要がある。	町田市における現在の待機児童数や、今後の保育所等への入所希望数などについて将来的な見込みをたて、必要となる定員枠が確保できるよう、計画の策定及び保育所等の整備を行う必要がある。	保育所等への入所を希望する市民のニーズが満たされている。	①　保育所等のニーズ量について、現状の確認と人口の再推計をもとに、調査する。	①　保育所等のニーズ量調査の実施	①　－	①　保育所等のニーズ量調査の実施	①　2017年11月	①　ニーズ量調査を実施	①　－	①　－
								②　①のニーズ量調査をもとに、今後の保育所等の量の見込みと確保方策（待機児童数と必要な定員児童数等）を、地域別に研究する。	②　今後の待機児童数と必要な定員児童数等の地域別の研究	②　－	②　今後の待機児童数と必要な定員児童数等の地域別の研究	②　2017年11月	②　地域別の待機児童数（見込み）と必要な定員児童数等を研究	②　－	②　－
								③　2019年4月の待機児童をゼロにするため、②で研究した内容をもとに、地区ごと（堺・町田・忠生・鶴川・南）に必要な保育所等の整備数を明確にするとともに、「町田市子ども・子育て支援事業計画」の改定時に整備数を明記する。また、この事業計画に基づき、保育所等の整備を行う。	③-ア　待機児童ゼロの計画策定	③-ア　－	③-ア　計画策定	③-ア　2017年12月	③-ア　「町田市子ども・子育て支援事業計画」改定時に、必要な保育所等の整備数を明記設	③-ア　－	③-ア　－
									③-イ　③の計画に基づいた保育所等の整備	③-イ　－ ※2017年4月時点　待機児童数市全体229人 【堺地区】19人 【忠生地区】10人 【町田地区】50人 【鶴川地区】61人 【南地区】89人	③-イ　整備完了 【整備施設】 ・認可保育所（分園）設置1施設 ・認可保育所（認証保育所からの移行）1施設 ・認可保育所（既存認可保育所の増改築）1施設 ・小規模保育事業所の設置13施設 ・20年間期間限定認可保育所1施設 ・幼稚園型接続型認定こども園1施設	③-イ　2019年3月	③-イ　保育所等の整備 【堺地区】 ・小規模保育事業所　1施設 【町田地区】 ・20年間期間限定認可保育所　1施設 ・小規模保育事業所　1施設 【鶴川地区】 ・小規模保育事業所　1施設 ・幼稚園型接続型認定こども園　1施設 【南地区】 ・認可保育所（分園）　1施	③-イ　保育所等の整備 【町田地区】 ・認可保育所（認証保育所からの移行）1施設 【鶴川地区】 ・認可保育所（既存認可保育所の増改築）1施設 ・小規模保育事業所　1施設 【南地区】 ・小規模保育事業所　7施設 ※上記以外に、町田・鶴川・南地区で小規模保育事業所を2施設整備予定	③-イ　－